市民国際プラザ

災害の影響を受けた人びとの人権が守られ、我慢をさせない支援に向けて

支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク（JQAN）事務局責任者　松尾　沢子

JQAN とは

支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク（略称：JQAN/ ジェイカン）は、2015 年に設立されました。主な活動は「スフィア基準などの国際社会で活用されている人道・災害支援における質や説明責任に関する原則、基準類の情報収集と発信」、「研修開催、教材・資料類の翻訳、調査分析」、「トレーナー人材の養成」となり、国内外の災害支援、開発支援に関わる NGO/NPO などからなる幹事団体が中心となって運営しています。JQAN が最も注力している活動は「スフィア基準」と「スフィアハンドブック　人道憲章と人道支援における最低基準」（以下、ハンドブック）の日本語での普及活動です。

「スフィア基準」とは

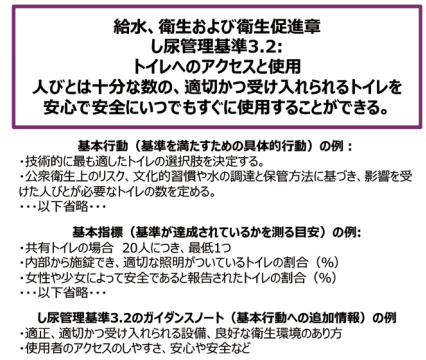
人びとの生命、尊厳、安全を尊重した支援に関する普遍的な考え方と実現すべき状態を示す最低基準です。



スフィアハンドブック

「スフィアハンドブック」とは

最低基準に加え、基本行動、指標と多くのガイダンスノート（好事例）などの実践的な情報がまとめられた実用書です。最低基準は尊厳ある生活への権利の原則に基づく包括的かつ質的な内容で、災害・紛争の種



スフィア基準の構成例

類や発生場所を問わず達成されるべき状態です。基準とその達成にむけた基本行動や指標は世界各地の支援者が参照しています。「スフィア」という名称は球体、転じて地球を想起させる英単語「Sphere」に由来し、「支援における共通言語となり、全世界的に取り組まれること」を願ってつけられました。

きっかけは東日本大震災

JQAN の原点は 2011 年 3 月の東日本大震災でした。世界中の支援団体・関係者が日本で活動する中でスフィア基準にある「被災者が有する尊厳ある生活を営む権利」への注目が低いことが指摘されました。日本の支援者の中でも被災者に我慢を強いる避難所の生活環境や運営の改善、災害関連死の防止といった課題へのヒントを求めてスフィア基準への関心が高まりました。



2025 年 9 月ぼうさいこくたい 2025in 新潟出展風景

スフィア基準を理解するためにハンドブックを使った研修が開始されるようになり、より継続的な活動に向けネットワークが形成されました。内閣府防災担当が2016年（平成28年）に発行した「避難所運営等避難生活支援のためのガイドライン（2024年（令和6年）12月改定）」で、「今後の我が国の「避難所の質の向上」を考えるときの指標となる国際基準」として同基準が明記され、2024年（令和6年）11月石破茂内閣総理大臣（当時）は、その所信表明演説で重要政策課題とした「治安・防災」の中で、これからの日本の防災対応で満たすべき基準として「スフィア基準」に言及し、より広範に知られることとなりました。



世界中のスフィアフォーカルと共に：2024年11月
Global Sphere Focal Point Forum

国際的なつながりを生かした取り組み

JQANは日本の唯一のスフィアフォーカルポイント（公認普及協力団体）として、世界の78のフォーカルポイントと共に活動しています。日本が位置するアジア・太平洋地域は災害多発地域である分、インドネシアやフィリピンなど「被災者が有する尊厳ある生活を営む権利」の実現に向けた仕組みや人材育成の取り組みが活発です。彼らとの学び合いを通じた活動の充実に加え、ハンドブック第5版への改訂作業にも積極的に関与していく予定です。JQAN（含む設立以前）が主催した日本語でのスフィア研修には1,000人を超える官民の支援者に参加いただいています。研修開催に欠かせないトレーナーの養成も継続していきます。

自治体との取り組み

日本の防災計画・対応で中心的な役割を果たす自治体や民間支援関係者、住民組織からスフィア基準を知



スフィア基準の成り立ちやポイントを解説：2025年10月
熊本県庁主催災害支援に携わる支援者のための研修会

りたいという要望を受け、JQANでは自治体向けの研修企画への協力や講師の紹介をしています。災害による死者数ゼロに向けて取り組んでいた徳島県と連携し2016年度から複数年にわたり、スフィア基準を踏まえた「我慢をさせない災害支援」の実現に向け行政職、医療従事者、自主防災組織、社協などが共に学ぶ機会を提供しました。

また2025年10月に熊本県が「官民連携による被災者支援体制整備」モデル事業の一環として、（特活）くまもと災害ボランティア団体ネットワーク、（特活）バルビーと共催した「災害支援に携わる支援者のための研修会」へは熊本での災害支援の経験を有するトレーナーの紹介と研修教材を提供しました。研修会は人道支援としての規範や被災者の権利を中心に対応することの重要性への気づきとともに、「基準・指標が明確なので参考資料として利用価値がある」など好評を得ました。行政、NPO/NGO問わず皆様の地域や所属先でスフィア研修の開催を検討される際は是非お声掛けください。

https://jqan.info/



JQANホームページ　スフィアなどの国際基準に関する情報掲載中